

5 富士宮東高等学校実施報告書

1 実施日時 令和6年11月10日（日）9時00分から12時00分まで

2 実施場所 富士宮東高校 第二体育館（住所：富士宮市小泉 1234）

3 実施内容

（1）タイトル 「パレスチナを知ろう！！ IN富士宮東高校」

（2）内 容

パレスチナ人を招いてパレスチナについてトークをしてもらうイベントを行う。その他パレスチナの歴史や文化、現状について紹介する。また、パレスチナの料理やパレスチナの現状を知るゲームの体験など、実際にパレスチナに触れてもらい、パレスチナについて考えてもらうきっかけをつくる。

4 プロジェクトの概要

<テーマ設定>

連日報道されているガザ地区への侵攻のニュースを見て衝撃を受けた。また現地の高校生が十分に教育が受けられていないことを知り、日本の高校生も何か協力できないかと考えた。そこでパレスチナ出身デザイナーのアハマド・サクファルハイトさんをお招きしてパレスチナの現状について話していただき、パレスチナの料理の試食、パレスチナの歴史や文化の紹介などでパレスチナについて地域の学生や住民の方々に知ってもらったり、アハマドさん考案のゲームの試作を体験してもらうなど、パレスチナについて自分事として考えるきっかけづくりにするイベントを計画した。



<イベント実施までのプロセス>

- 5月 ドリーム・プロジェクト 2024 企画書作成、ゲストのアハマドさんと Zoom によるオンライン会議
- 6月 企画採用
- 7月 富士宮市教育委員会社会教育課に協催依頼（看板用紙印刷、富士宮市中学校へのチラシ配布を依頼）、富士宮東高校社会科の教員からパレスチナの特別授業
- 8月 アハマドさんと富士宮東高校で打ち合わせ
- 9月 チラシ作成、認定 NPO 法人パレスチナの子どもキャンペーン様へ協力依頼（委託販売品やパレスチナの現状を知るパネル貸出依頼）
- 10月 富士・富士宮市の中学校と高校へチラシ配布、多摩美術大学でアハマドさん考案のゲーム試行、当日参加してくれる部活動へボランティア依頼（受付や駐車場での案内、各文化部によるパフォーマンス依頼）、元アナウンサーの浅野吏英さんへ協力依頼（司会進行の指導）
- 11月 部活動による前日準備を行う。アハマドさんや浅野さんも来ていただき前日確認を行った。



パレスチナについての授業



多摩美術大学訪問



打ち合わせ

<イベント当日>

当日は、ドリーム・プロジェクトメンバーで司会や各ブースの説明アナウンス、来場者案内などを分担して行った。また、部活動や生徒会などに協力をお願いして会場設営や片付け、受付や物品販売等をを行った。イベントの中で、書道部によるパフォーマンスや日本文化部による抹茶とパレスチナの菓子の提供、パレスチナをイメージした生け花の展示、生活科学部によるパレスチナ料理の試食などを行い、日本とパレスチナの異文化交流で来てくださった方々により理解を深めてもらった。



ドリプロ有志メンバー



当日参加した宮東生



本校書道部のパフォーマンス



パレスチナの料理



アハマドさん考案

パレスチナについてのゲーム



アハマドさん茶道のお点前



認定 NPO 法人 パレスチナの子どもキャンペーン
パネル展示



応援グッズ 委託販売品

5 感想

今回のドリーム・プロジェクトを通して、イベントを運営することは多くの人の支えや協力があって成り立つものだとは強く感じた。高校生が主体的に行うこのイベントでは自分たちから何を発信して伝えたいか、その思いが企画を運営する上で大切だということを学んだ。その思いを協力してくれる人達に伝えることでより多くの人の協力を得ることができ、一つにまとまってイベントを成功させることができると思った。自分たちがやりたいと言ったこのイベントを形にするためにたくさんの本校の生徒はもちろん、職員の方々や事務室の方々にも協力していただいた。さらには看板作成に富士宮市役所の社会教育課の方々、チラシを各学校へ配布するために富士・富士宮市役所の方々、チラシを配った各学校の職員の方々にも協力していただいた。

今回のイベントの目的はパレスチナについて知ってもらい自分事として考えてもらうことだった。この目的を達成するためにゲストとしてアハマドさんに多くの協力をしていただいた。高校生がこの国際問題をイベントとして行うことはとても難しいことだった。パレスチナ出身のアハマドさんへこの問題について話してもらうためイベントに参加してもらうのには自分たちがどのような思いでイベントを行い、何を伝えたいかが明確でないと誤解を招いてしまう可能性があると感じた。非常に難しく、繊細な問題だからこそより多くの人が自分事として考えなければいけないと思った。

イベントを通してアハマドさんや司会指導をしていただいた浅野さん、パネル展示や委託販売品で協力していただいたパレスチナの子どもキャンペーンの方々をはじめ、関わってくれたすべての方々に感謝をしなければいけないと思った。高校生が主体的に行うこのドリーム・プロジェクトを通して、たくさんの人を動かすことの難しさや感謝の思い、言葉遣いや目上の方や初対面の方とのコミュニケーションなど今後の人生や社会で役立つ多くのことを学ぶことができた。リーダーとしてこの人なら協力したいと思えるような言葉や行動がイベントを行う前よりできるようになったと感じている。自分はこれからの人生でこの貴重なイベントで培った力を大切にしていきたいと思う。